地域の歴史、文化、自然の保護を図りつつ、農泊の取り組みでこれらを活用することによって、地 域の所得を向上し、新たな担い手確保を目指します。さらに、本取組が成果を挙げ、福島県内にて 農家民宿等を行っている団体にとってモデルとなることを目指す。

福島県郡山市

【実施体制】

事務局: 逢瀬町商工会

コーディネーター:

<農家民宿>

宿泊

- なんだべ村 • 中村さん家
- さとう農園
- まかちゃん家
- アスパラ牛の里
- <旅館>
- 熊田美子
- 國井正浩
- 鈴木早苗

なんだべ村 中村さん家

体 験

逢瀬いなか体験交流協議会

- さとう農園
- まかちゃん家
- アスパラ牛の里
- 加藤満喜子
- 佐藤初子
- 伊藤かほる
- 请藤喜一
- 菅野セツ子

食事

<農家民宿>

- なんだべ村
- 中村さん家
- さとう農園
- まかちゃん家
- アスパラ牛の里
- <旅館>
- 熊田美子
- 國井正浩
- 鈴木早苗

おおせのとおり(旅行サービス手配業)

(2) 小中高校生・インバウンド受入

- 農業体験(有機農業体験)
- 味噌づくり体験
- 郡山の伝統芸能体験(ひょっとこ踊り)
- 田舎料理づくり体験

【取組内容】

(1) 大学生との交流

- 郡山在住の学生との勉強会(原発事故・東日本大震災を振り返る)
- 郡山市園芸振興センター視察(放射線測定機器の説明、風評被害の説明など)
- ふくしま逢瀬ワイナリーの視察・農業体験(野菜摘み、種まき等)
- 田舎料理の勉強会(味噌かんぷら、辛子団子、ぼたもち、田舎の野菜スープ)
- 農家民宿での交流・団欒
- 薪割り体験
- 危険予知訓練
- 農家民宿での交流・団欒



農業体験



農家民宿

【採 択 年 度】 令和元年度 【事業実施期間】 令和元~2年度



農産物直売所(ポケット ファームおおせ)

【特徴的な取組】

(1) 大学生との交流

東日本大震災をきっかけに地域実習 (ゼミ)で来訪した文京学院大学をは じめ、累計で1.000名以上の学生を受 け入れています。

- (2) インバウンド受入 外国人旅行者向けの受け入れに 加えて、県内在住の外国人向け マイクロツーリズムプログラムを提り 供している。
- (3) 地域住民向けセミナー等開催



インバウンド対応状況(青:対応)













